

# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 12月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

## 頑張ろうとする気持ち

校長 岩崎 健治

早いもので師走を迎える頃となり、学校もあと残すところ3週間あまりで冬休みを迎えます。新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、徐々に様々な教育活動が実施できるようになってきました。11月7日には、素晴らしい天候のもとで泊を伴う6年生の日光修学旅行が実施されました。また、各学年の社会科見学や遠足もスタートしました。12月には泊を伴う5年生御殿場宿泊体験の実施やズーラシア遠足と続きます。各学年の子どもたちは、それぞれの活動を楽しみにして、その時々を力いっぱい心から楽しんでいる様子でした。そんな子どもたちの姿を見ることができるととても嬉しく思いました。

コロナ禍の中で、明るい話題の一つに、投打の「二刀流」で大リーグに衝撃を与えたエンゼルスの大谷翔平選手が、今季のアメリカン・リーグの最優秀選手（MVP）に選ばれました。大谷選手は今季、打者でリーグ3位の46本塁打のほか、同5位の26盗塁を記録。投手としては、チーム最多の9勝を挙げるなど大車輪の活躍を見せました。これだけの偉業を成し遂げている中で、「けがもあって順調にきていたわけではないので、いろいろな人に助けてもらって取れた」「一番とは思わず、もっともっと頑張りたい」と、次への高みに向けての話もありました。

また、大谷翔平選手の魅力は、最優秀選手（MVP）という好成績を収めたことだけでなく、野球に前向きに取り組む姿やグラウンドのごみを拾う姿にもその人柄を感じることが出来ます。

謙虚に、感謝の気持ちをもったり、前向きに取り組んだり、できることを一生懸命に頑張ったりすることは、高みを目指す原動力になっているのだと思いました。

日々の教育活動の中で、一人ひとりが楽しく過ごし、何か一つでも自分でできることを一生懸命に取り組み、どんな課題があっても前向きに考え、乗り越えていける、そんな力を、様々な学習や行事、体験学習を通して、可能な限り実感できる機会をつくっていかれたらと思っています。

学校教育の様々な場面をよい機会ととらえ、どんなことにも前向きに考えて取り組み、頑張ろうとする気持ちを伸ばしていけたらと思います。そして、「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」を目指していきます。

今年も残すところ1ヶ月あまりとなりました。保護者・地域の皆様には多くの場面でご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍という状況が続く中、子どもたちの安全・安心を第一に考え、感染症対策を講じて、今後も教育活動を進めて参ります。

そして、だれもが安全・安心で、元気に、豊かな気持ちで年末・年始を迎えることを心より願っております。



《花壇ボランティアの皆さんが植えてくださったパンジーの花》